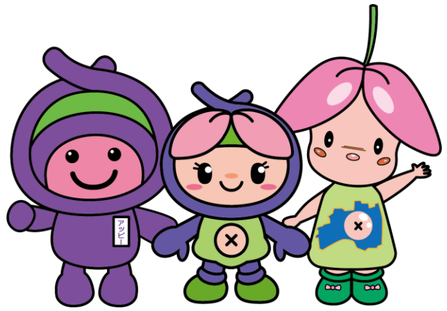
本宮市誕生２０周年記念ロゴマーク
令和９年１月１日で本宮市は誕生２０周年を迎えます



本宮市長定例記者会見

令和８年度予算編成スローガン

２０年の歩みを未来へ

笑顔があふれる福島のへそのまち　もとみや

■日　時：令和８年６月３日（水）午前１０時００分～

■場　所：本宮市役所３階大会議室

本宮市
MOTOMIYA CITY

次　第

令和８年６月３日（水）
午前１０時００分～

１．開　　会
２．発　　表
（１）もとみや電子夢図書館閲覧数　全国１位について資料１【生涯学習部】
（２）小・中学校体育館空調設備の整備について資料２【教育部】
（３）本宮市総合体育館等空調設備の整備完成について資料３【建設部・生涯学習部】
（４）本宮市医業開業・承継支援事業補助制度について資料４【保健福祉部】
（５）「未来へつなげる もとみや英国訪問団２０２６」派遣について資料５【教育部】
（６）国内派遣交流事業について 資料６【教育部】
（７）社会教育・社会体育施設の名称変更について資料７【生涯学習部】
（８）第２０回本宮市夏まつりについて 資料８【産業部】
（９）令和８年度全国へそのまち協議会総会開催について資料９【総務政策部】
（10）令和８年度国民健康保険税について 【市民部】
（11）令和８年第４回本宮市議会定例会提出議案について 【総務政策部・財務部】
３．質疑応答
４．閉　　会

■出席者：市長、副市長、財務部長、市民部長、保健福祉部長、産業部長、建設部長、教育部長、生涯学習部長

もとみや電子夢図書館閲覧数　全国１位について

もとみや電子夢図書館利用状況

	総　数	1,000人あたり	順位（人口比）	全国平均
閲覧数	91,822冊	3,166.3冊	1位	230.4冊
貸出数	20,928冊	721.7冊	2位	59.2冊

2025年度下半期
全　国
第1位
閲覧数

※集計期間：2025年10月1日～2026年3月31日（2025年度下半期）
※全国導入自治体数　424自治体（2026年3月末現在）



▲もとみや電子夢図書館


▲児童・生徒用タブレット端末

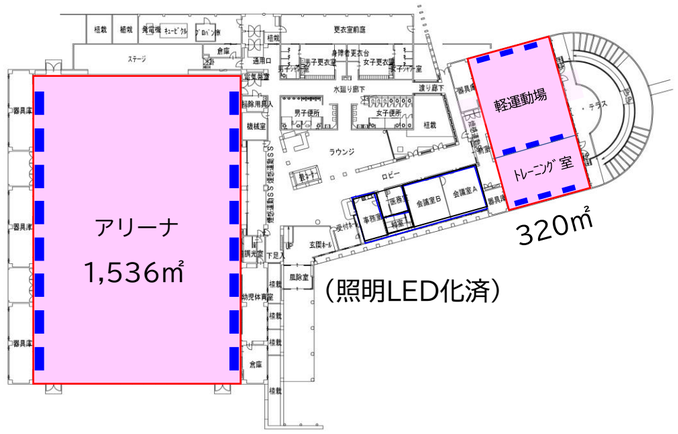

▲中学校での読書活動の様子

小・中学校体育館空調設備の整備について

○趣　旨

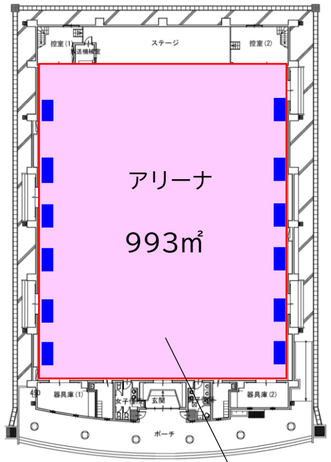
本事業は、近年の夏季高温化の状況に対応するため、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時には指定避難所となる学校体育館について、学校生活環境の向上と、災害時避難所機能の強化を図るため、市内全小・中学校学校体育館への計画的な空調設備（天吊型）の整備を進める。今年度では、中学校３校体育館への工事を行い、中学校の次は小学校体育館への整備を図る。

本宮第一中学校



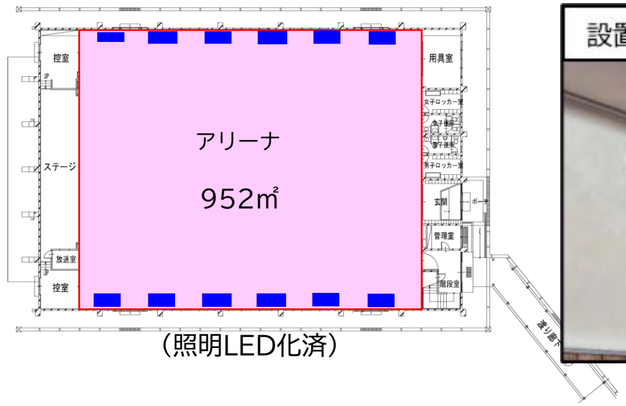
（照明LED化済）

本宮第二中学校



照明更新（LED化）

白沢中学校



（照明LED化済）



（天吊型）

項目／学校名	本宮第一中学校	本宮第二中学校	白沢中学校	合　計
設置台数	アリーナ　１６台 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室・軽運動場　９台	アリーナ　１２台	アリーナ　１２台	４９台
機器出力	８馬力／１台	６馬力／１台	６馬力／１台	

資料３　建設部・生涯学習部

本宮市総合体育館等空調設備の整備完成について

本宮市総合体育館空調設備設置について

大規模避難所としての利用環境の充実、スポーツ競技大会等の誘致及び競技以外の興行など多岐にわたる利活用を図るため、本宮市総合体育館のアリーナ及びホール等に空調設備を設置し、体育館機能を向上させる。

【事業費】

本宮市総合体育館空調設備設置工事：219,943千円

【工事期間】

令和7年8月29日　～　令和8年5月25日竣工

■本宮市総合体育館基本情報

構造：鉄筋コンクリート３階建

空調設備整備面積：3,787.00㎡

1F：2,367.00㎡　2F：1,420.00㎡







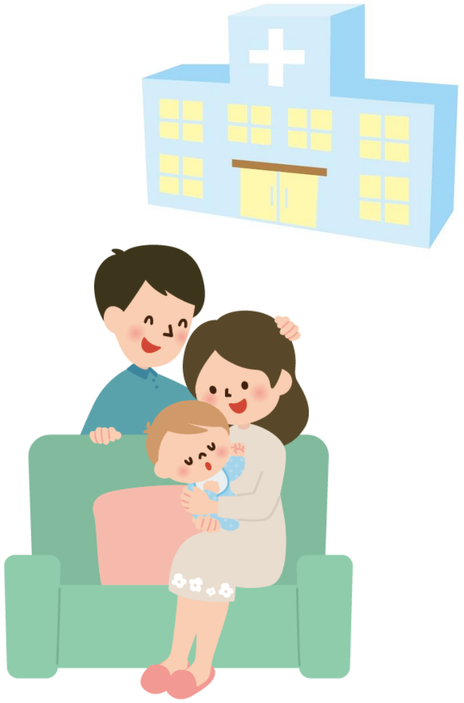
【空調設置数】

アリーナ　１６基
２Ｆ通路　６基
１Ｆ・２Ｆホール　８基
男子・女子更衣室　２基

本宮市医業開業・承継支援事業補助制度について

１　趣　旨

市民が将来にわたり安心して医療を受けられる体制を構築するため、医療機関の新規開業及び承継を支援する補助制度を創設、特に地域課題である「産科（分娩取扱い）」を確保するため、重点的支援枠を設ける。



２　補助制度の概要

項　　目	内　　容
対 象 者	市内で開業・承継し、１０年以上診療を継続する医師または医療法人 ※承継については、親子間の承継も含む。
対象施設	診療所または病院 ※診療科は問わないが、病院については「産科（分娩取扱い）」に限る。
対象経費	土地・建物の取得費、建築・改修費、医療機器購入費 ※人件費および消耗的経費は対象外。
補 助 率	１／２以内（なお、国・県補助対象経費は補助金を控除した残額に対して適用する。）

３　補助上限額の設定　（財源内訳：一般財源）

区　　分	上　限　額	交　付　方　法
診　療　所	５，０００万円	工事等完了時に一括交付
産科開設等 （分娩取扱い）	１年度につき１億円 （５年間で最大５億円）	継続交付

４　制度の周知方法

安達医師会、県医師会から医師のネットワークを通じたＰＲ、更には市ホームページ、県の関連サイト等と連携して周知していく。

「未来へつなげる もとみや英国訪問団 ２０２６」派遣について

１　事業目的

未来を担う子ども達（中学生）を英国へ派遣し、関係機関への親善活動や現地英国人生徒との交流を通して、国際性豊かな人材育成を図る。

２　実施時期

令和８年６月２７日(土)～７月３日(金)　５泊７日

３　訪問団名

「未来へつなげる もとみや英国訪問団 2026」

４　参 加 者

市内中学生１５名

［団長］市長　［副団長］市議会議長　［随行職員］６名　合計２３名

５　訪 問 先

（１）ケンジントン＆チェルシー王室特別区役所、ホランド・パーク福島庭園、
　　ケンジントン宮殿・自然史博物館（王室特別区内名所視察）
（２）在英国日本国大使館
（３）ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（ＵＣＬ）
（４）生徒間交流校　ダヴェナント・ファウンデーション・スクール
（５）その他（英国ロンドン市内視察 等）


ケンジントン＆チェルシー王室特別区での中学生英語スピーチ


ダヴェナント校での交流「だるまさんが転んだ」

※ 英国訪問団2025より

国内交流派遣事業について

１　趣　旨

　郷土と異なる風土や文化に触れ、子ども達の交流を通じお互いの地域への愛着を深め合うとともに、郷土愛を育み、豊かな心や感性の醸成を図ることを目的とします。

２　主　催

本宮市・本宮市教育委員会

３　訪問先

北海道 富良野市　（全国へそのまち協議会加盟自治体）

４　日　程

令和８年７月２９日（水）～７月３１日（金）　２泊３日

５　参加者

市内各小学校６年生　計２４名（各校クラス数×２名）
〔団長〕教育長　〔随行職員〕６名　　合計３１名

６　交流事業

（１）富良野市立富良野小学校との体験学習・交流会
（２）北海へそ祭り参加　　など



社会教育・社会体育施設の名称変更について

１　目　　的

しらさわグリーンパーク・しらさわ夢図書館の両施設は、市内唯一の施設であり、多くの市民の皆様に親しまれる施設になった。
本宮市誕生２０周年を契機に、「しらさわ」を「もとみや」に変更することで、本宮市の施設であることを明確化し、「福島のへそのまち本宮」のさらなる魅力発信と利用者及び集客の増加につなげる。

２　名称変更

（１）**本宮市しらさわグリーンパーク** ➡ 変更 ➡ **本宮市もとみやグリーンパーク**

- **野　球　場** ⇒ グリーンパーク スタジアム
- **サッカー場** ⇒ グリーンパーク フィールド

変更理由：・ルートインＢＣリーグ公式戦の開催球場として継続的に使われている。
・市の代表的な野球場で、高校や社会人などのアマチュア野球の公式戦、イベントにも使われることが多く、地域ではメイン球場であり、公式戦会場の一つとして県内でも名の知れた野球場となっている。
・スコアボードのＬＥＤ化の整備も完成し、これまで以上に利用していただくため、本宮市の野球場として積極的にPRする。

（２）**本宮市立しらさわ夢図書館** ➡ 変更 ➡ **本宮市立もとみや夢図書館**

変更理由：令和５年４月にリニューアルオープンし、市内外の皆様に広く利用していただいている。
令和７年１２月からもとみや電子夢図書館のサービスも開始したことから、本宮市の図書館として広くPRする。

３　スケジュール

●６月市議会定例会において条例改正。
●名称の変更は、本宮市誕生２０年を迎える令和９年１月に行う。

第２０回本宮市夏まつりについて

１　開催日

令和８年７月１８日（土）、１９日（日）　※荒天の場合、花火は翌週７月２６日（日）に延期

２　テーマ

「２０２６！夏！ごきげんだぜっ！！」

３　主なイベント

【１日目】
- ○ 夏まつりセレモニー
- ○ 脱出ゲーム型お化け屋敷ゾンビパニック
- ○ 一般・仮装みずいろ盆踊り

【２日目】
- ○ 脱出ゲーム型お化け屋敷ゾンビパニック
- ○ 舟こぎ競争
- ○ みずいろ花火



４　その他

（１）メモリアル花火の実施

大切な記念日やお祝いごと、日ごろの感謝など、大切な想い（メッセージ）を花火に込めて打ち上げを実施する。

（２）ふるさと納税　体験型返礼品

花火観覧席（桟敷席）4名/席　40,000円



令和８年度全国へそのまち協議会総会開催について

１　開催日

令和８年７月１９日（日）

２　概　要

全国へそのまち協議会総会を本宮市にて開催する

３　全国へそのまち協議会

「全国へそのまち協議会」とは、へそ・中心・重心などの個性的な地域資源を持つ市町村が加盟する協議会です。

協議会では、加盟市町村が相互の親善と交流を深めながら、産業や文化の振興、活力と魅力ある地域づくりに取り組んでいます。毎年総会行事や観光物産展などを開催しているほか、加盟市町村が全国に点在しているという地域的特性を生かし、災害時の応援態勢を定めた「災害時相互応援の覚書」を締結しています。

４　加盟市町村

北海道富良野市、栃木県佐野市、群馬県渋川市、山梨県中央市、兵庫県西脇市、岡山県吉備中央町、熊本県山都町、沖縄県宜野座村、福島県本宮市

▼全国へそのまち協議会加盟市町村図





▲全国へそのまち協議会ふるさと納税紹介宣伝バナー